

令和7年度 祥明大學校短期研修報告書

文学部 英語英米文学科 3年 北岡佳倫

今回、私は9月11日から18日の8日間、韓国の祥明大學校への短期研修に参加しました。最近韓国では大統領選挙やそれに伴う大規模なデモが行われていたため、渡韓する上で少々不安な気持ちもありましたが、現地に行ってみて、そこで生活する人々のリアルを見てみたいと思う気持ちで研修に臨みました。今回の研修では、祥明大學校の学生の方々が、朝早くから夜遅くまで私たちのサポートをしてくださいました。この報告書では、8日間の研修で得られた貴重な経験を皆さんに共有できればと思います。

1日目は、仁川国際空港から高速バスで移動し、夕方ごろに天安市へ到着しました。ホテルに荷物を置いた後は、歓迎会が開かれるサムギョプサルのお店へ移動しました。歓迎会には祥明大學校のサポーターの学生や教授も参加され、お互いに自己紹介をして親睦を深めました。歓迎会の後はサポーターの方が近くのアイスクリームショップに案内してくれたり、翌日からの移動で必要となる交通系カードを買いに連れて行ってくれたりしました。



2日目は、祥明大學校の副総長の方にご挨拶しに伺い、大學校オリジナルのボールペンを記念に頂きました。そのボールペンには学生が考案したオリジナルのマスコットキャラクターが付いており、デザインスキルの高さに驚きました。記念撮影をさせていただいた後は自由時間で、サポーターの学生の方2名と昼食のお店へ行きました。初日も感じましたが、やはり韓国の飲食店は日本と違って、料理の前のお通しが多いなと思いました。昼食後は新たに数名のサポーターが加わり、やりたい内容で幾つ



かにグループを分けて夕食の時間まで別行動をしました。私は本屋に連れて行ってもらい、じっくり見て回りました。韓国の本は日本と違ってカバーが無かったのが印象的でした。夕食は韓国式のおでんをいただきました。同じ「おでん」という名前でも、日本のものとは全く異なり、韓国のおでんは練り物なのが面白いと思うポイントでした。

3日目は、朝から天安市を出てソウルキャンパスへ移動しました。ソウルキャンパスに到着して一番感じたのは、急勾配な坂が多いという事です。サポーターの学生に訊ねた



ところ、韓国は国土の70%が山地・丘陵で、それを切り崩して街をつくっているため、街のいたるところに急な坂が多いのだと教えてくれました。韓国の文化については調べたことがあっても、なかなか地形までは調べないため良い勉強になりました。昼食を済ませた後は、それぞれが選んだ韓国の伝統衣装である韓服を着て景福宮を散策しました。伝統的な服に身を包み、歴史ある場所を歩いてタイムスリップしたかのような非日常を味わうことが出来ました。また、他の観光客の方も沢山いらっやって、そういった海外の方に声をかけられ交流が出来たのも良い思い出の一つです。

4日目は、終日自由行動だったので韓国人の友人と出かけました。1日の大半を聖水で過ごし、色々な店のPOP-UPに行ってきました。元々、聖水という地域は工場地帯だったのですが現在ではそれを感じさせない程、おしゃれなスポットになっており若い方で賑わっていました。晩御飯は、友人におすすめされたチョッパルという豚足料理を食べに行きました。夕食中に、友人から今の韓国の政治の状況を聞くことが出来ました。リアルな話を現地人から沢山聞くことが出来てとても良かったと思うとともに、私も日本が置かれている状況を人に説明できるよう努めていきたいと感じました。

5日目は、皆でロッテワールドに行きました。近くで韓国の制服をレンタル出来るお店があり、ほとんどの参加者がレンタルしてロッテワールドを満喫しました。屋外も屋内もあるというのが日本にはないスタイルで、新鮮に感じました。絶叫系のアトラクションに沢山乗ったり、パレードを観たりと、楽しい時間をサポーターの皆さんと過ごすことが出来ました。



6日目は、汝矣島漢江公園に行って「漢江ラーメン」を食べました。コンビニの壁いっぱいに敷き詰められた様々な種類のラーメンから好みのものを選んで購入し、専用の機械



でお湯を注いで作りました。せっかくなので外のテラス席で食べようとなり、皆でラーメンを持って移動しました。それまでは弱い小雨だったのですが、席について食べようとした瞬間に天気が一変し、強い風を伴う土砂降りに変わったので、全員傘でラーメンを必死に守りながら急いで室内に避難しました。皆雨に打たれてびしょびしょに濡れてしまいましたが、その分温かいラーメンが体に沁みてとっても美味しかったです。全員で雨に打たれたのも、

それはそれで面白く、この日のハイライトになりました。そしてこの日の夜に、シャトルバスでソウルから天安市に戻りました。



7日目は、朝から1時間の韓国語講座を受けました。飲食店での注文の仕方や、韓国の文化の特徴について学びました。昼食は大学校の食堂で頂きました。中央に置かれた食材を自分でお皿に盛っていくスタイルで、どれも美味しかったです。トッポキがあったのですがロゼトッポキという種類で、辛いものが苦手な私も美味しく食べられました。昼食を済ませた後は、一週間の成果発表会を行いました。頑張って全て韓国語で発表しましたが、あまりすらすらとは話せなかったため、もっと韓国語の勉強をしなければと気が引き締められました。最後に皆で記念撮影をして、一週間の感謝を伝え合いました。



8日目は、早朝のバスに乗って仁川国際空港に向かいました。とても早い時間だったにも関わらず学生サポーターの方々が見送りをしてくれて、別れ際、お互い「さよなら」ではなく「またね」と言葉を交わしました。サポーターの中には、既に熊本に来る日を決め始めている方もいて、その時は私たちが目一杯のおもてなしをしてあげたいと思います。

最後に、この研修を経てニュースやYouTubeでは分からない韓国のリアルを知ることが出来たと思います。大統領が代わったことで、また反日感情が高まり心無いことを言われてしまうのではないかという心配もありましたが、実際に足を運んでみたら出会う人は

全て心優しく私たちを迎えてくださいました。この研修は他の人から聞いていた韓国について色々な話を、実際に自分の目で確かめられた良い機会となり、やはり現地の人と言葉を交わしてお互いを理解することが大切なのだと実感しました。

改めてこの研修に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。